

稚内市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

市民が将来にわたって安心して住み続けることができるまちづくりには、誰もが安心して移動することができる地域公共交通ネットワークの構築が必要不可欠であることから、「稚内市地域公共交通網形成計画」を策定し、地域のさらなる発展を支えるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通網を構築するため、取組みを進めているところである

その一環として運行する「天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー」は、通学・通勤・通院などの生活に欠かせない地域の足として定着していることから、今後も運行を継続する。

生活交通確保維持改善計画の目標

■天北地区、恵北・増幌地区

【目標：利用者の維持・増加及び収支率の増加を目指す】

- ・利用者平均710人/月（R3.4～R4.3実績：708人/月）
- ・収支率11%以上（R2.10～R3.9実績：10.89%）

令和5年度事業概要

■天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

・天北地区、恵北・増幌地区各戸から稚内駅前ターミナルまで

【市街地方面行き：5便 天北方面行き：4便】

利用料金	潮見5まで 《区間1》	南駅前まで 《区間2》	稚内駅前Tまで 《区間3》
【区域1】恵北・増幌	200円	300円	400円
【区域2】樺岡・上声間	400円	500円	600円
【区域3】沼川・川西・曙・川南・開進・豊別・天興・曲淵	500円	600円	700円

地域公共交通の現況

- 航空機（ANA：羽田便・新千歳便、FDA：チャーター便）
- 鉄道（JR北海道：宗谷線（稚内、南稚内、抜海、勇知））
- 路線バス（宗谷バス（株）：市内路線/7路線、地域間幹線/1路線）
- 都市間バス（宗谷バス（株）：1路線）
- 船舶（ハートランドフェリー（株）：利尻・礼文航路）
- タクシー事業者2社（稚内日の丸交通・北都ハイヤー）
- スクールバス（7地域）

協議会開催状況

■令和4年度第3回協議会R5年3月24日開催

- ・R4事業経過報告
- ・R5事業計画案及び予算案

■令和5年度第1回協議会R5年6月15日開催

- ・令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）
- ・稚内市地域公共交通網形成計画に係る達成状況の評価
- ・稚内市地域公共交通計画に係るアンケート調査の実施

■令和5年度第2回協議会R6年1月17日開催

- ・天北宗谷岬線バスの再編
- ・アンケート調査の結果について
- ・地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価
- ・稚内市地域公共交通計画（案）

令和5年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

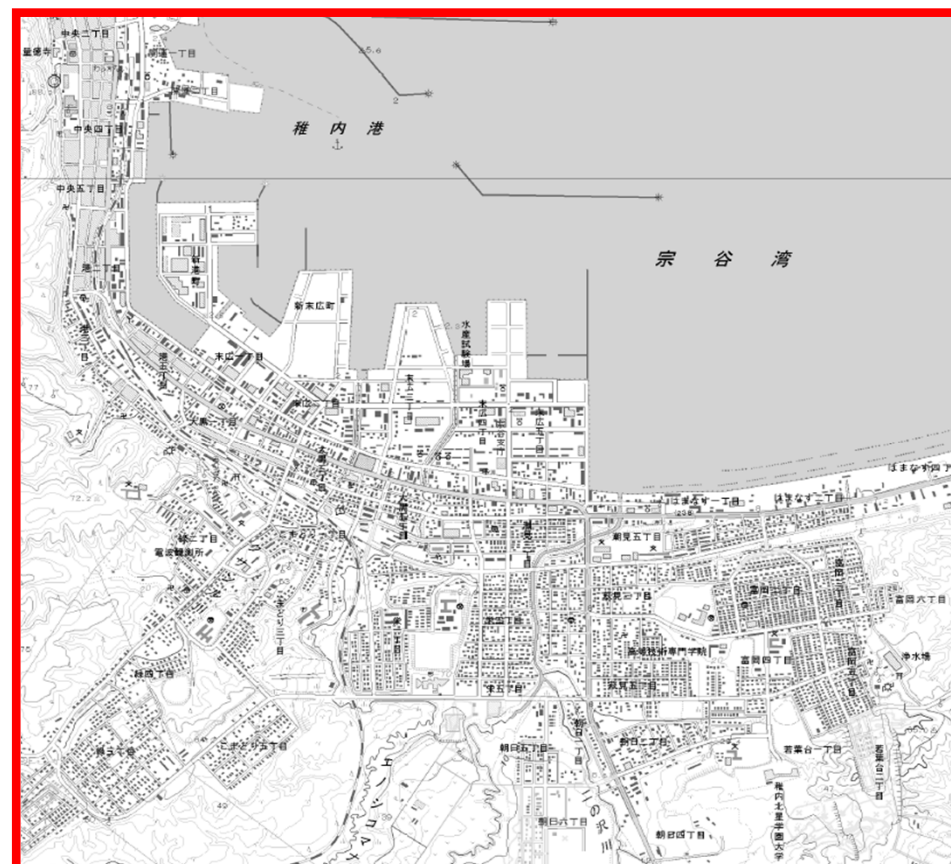
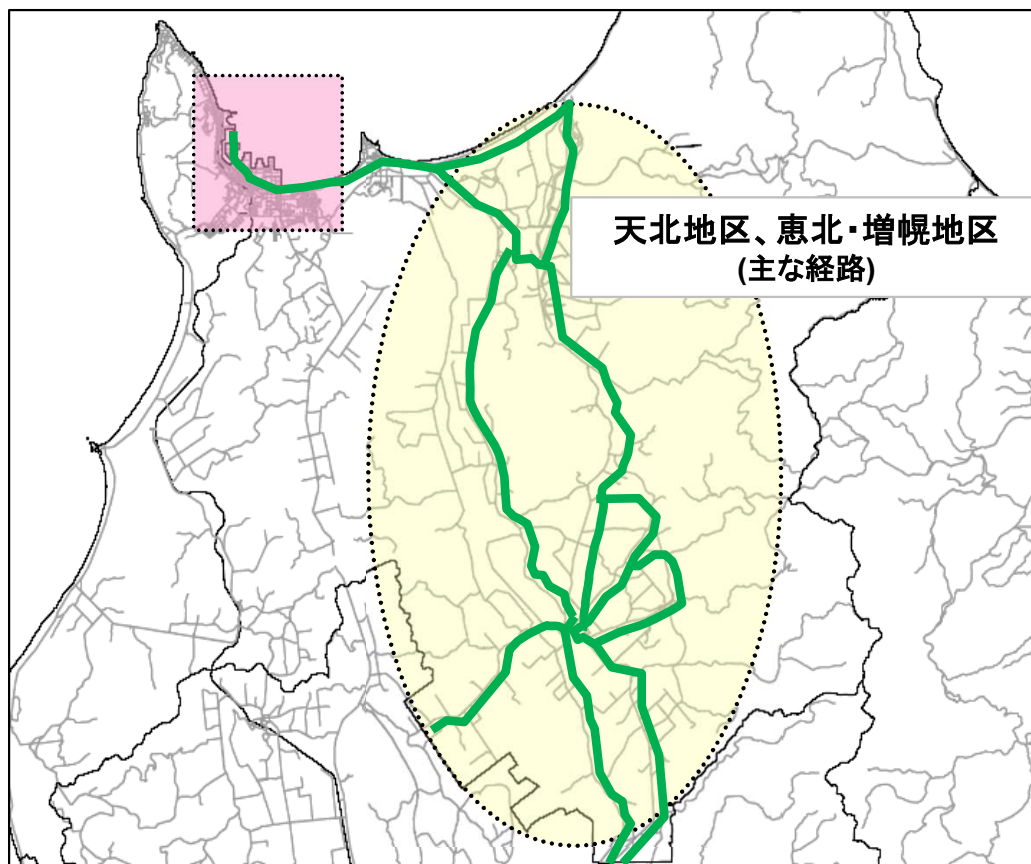
【プロセス】

- ・旧天北線バスの経路変更をはじめとする郊外バス路線の再編に伴い、代替交通としてH23年10月から本格運行となる。
- ・持続可能な交通ネットワークを確保を目指し、令和2年4月に再編を実施した。

【創意工夫】

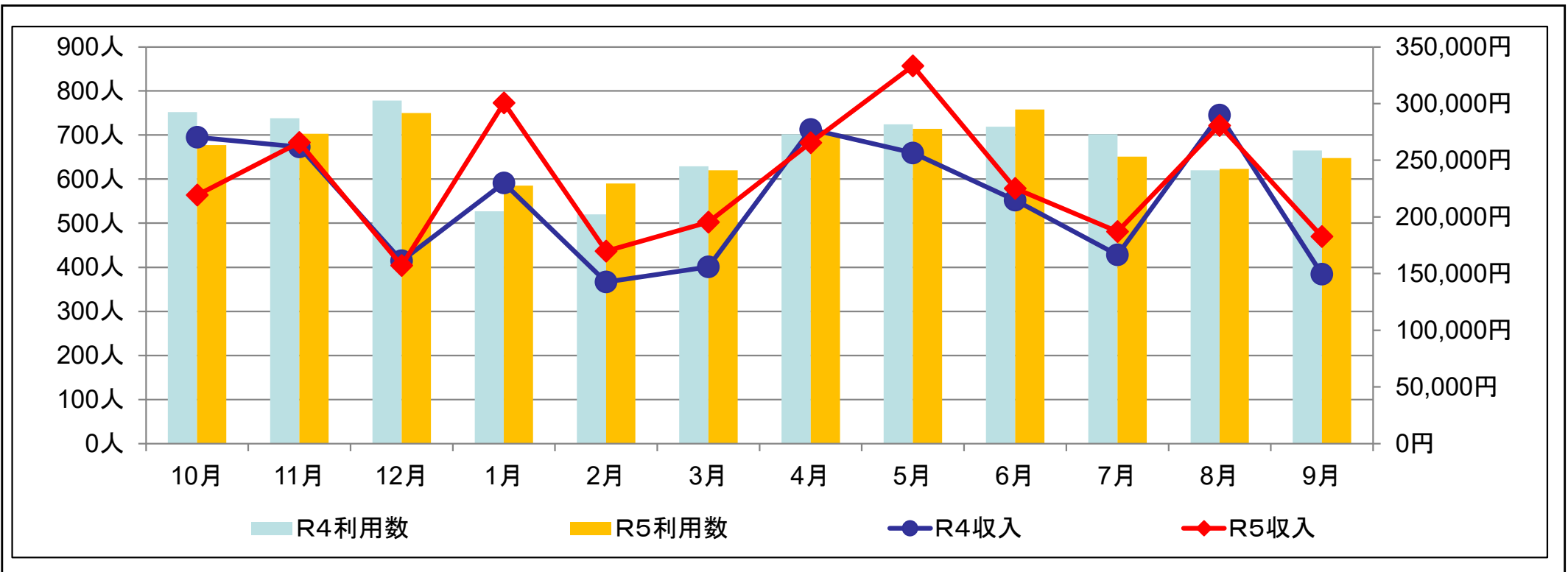
- ・利用者や運行地区の住民の声を拾い、要望を実現した場合のメリット・デメリットを整理し、実現性について検討を行った。
- ・将来にむけて運行を持続するため、当該事業の実績及び必要性を地域住民へ説明し、積極的な利用の呼びかけを行った。

2) 運行系統



3) 利用実績

4) 収入実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
R4 利用者数	752	738	778	527	520	629	702	724	719	702	620	665	8,076
R5 利用者数	677	703	750	585	590	620	702	714	758	651	623	648	8,021
R4 運行収入	270,270	261,770	161,290	229,930	142,550	155,950	277,220	256,430	214,740	166,550	289,780	149,500	2,575,980
R5 運行収入	219,330	265,720	157,200	300,690	169,840	195,350	265,590	333,310	225,190	187,090	280,770	182,790	2,782,870

5) 事業実施の適切性

■天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

- ・事業は計画通り適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

■天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

・総利用者数は前年度に比べて年間で55人減少し、概ね横ばいであったが、一月平均は668人で、目標としていた一月平均710人には達しなかった。

・利用者増減の内訳として、運賃を低く設定している高齢者や小学生以下の子どもがそれぞれ減少(高齢者は149人、子どもは26人で合わせて175人の減少)、したことに対し、大人は120人増えたことから、運賃収入が増加した。収入の増加に伴い、収支率は前年を上回る9.84%という結果となったが、目標収支率の11.0%には達しなかった。

7) 事業の今後の改善点

■天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

対象地区を運行していた「曲淵線バス」の廃止により、一時的に利用者数が増加傾向にあったが、廃止から3年半が経過し、令和5年度実績では減少に転じた。

対象地区の人口が減少傾向にあることから、この先は、関係者が一丸となって、これまで公共交通機関を利用していなかった新規の利用者を確保し、収支率の維持・向上が必要となる。

また、今後の利用者離れを防ぐため、利便性の維持・向上を図るとともに、高止まりが続く物価・燃料価格の下で運行を継続するため、効率的な運行と経費の節減に努める。

8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・ 自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・ 目標を達成することができなかったが、運賃収入は増加しており、今後も新たな利用者ニーズの掘り起こしを行うなど、現在作成中の地域公共交通計画に基づき、更なる利用促進の取組を期待する。
- ・ 持続可能な公共交通を維持する観点から、市民の移動に関する公的資金負担額等の市全体の事業効率の改善についても検証いただきたい。